

# CADWe'II CAPEIII

## 環境移行手順書

株式会社ダイテック  
2011年4月

### 目次

PC 交換・グレードアップ時の環境移行の流れ .....	1
環境のバックアップ .....	2
環境の復元 .....	6
『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル .....	11
保存先フォルダについて .....	13

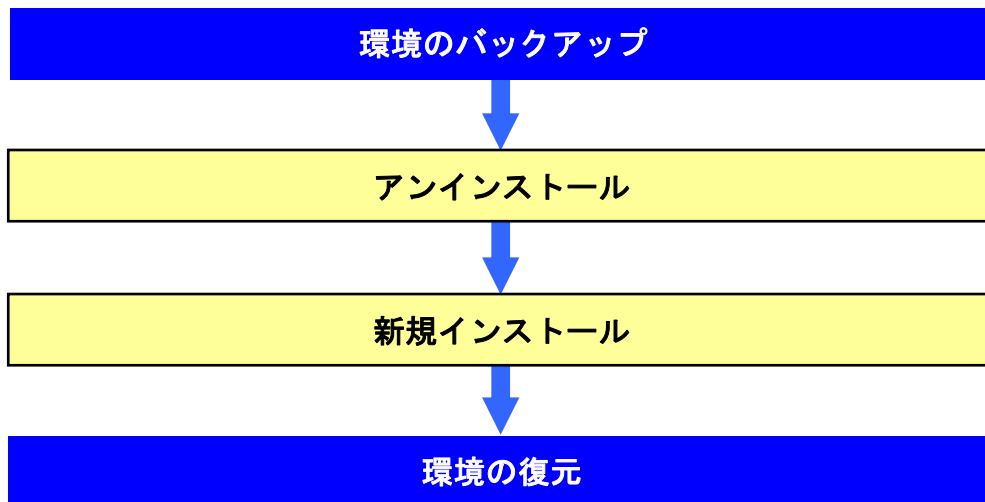
- 「CADWe'II CAPEIII」は株式会社ダイテックの商標であり、「CADWe'II CAPEIII」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ダイテックに帰属します。
- 本書の記載内容は、予告なく変更することがあります。

## PC 交換・グレードアップ時の環境移行の流れ

### ●環境移行について

PC 交換・グレードアップの形態により環境移行の方法が異なります。下図で環境移行の流れ・種類をご確認ください。

#### ■環境移行の流れ



※ 手順の詳細は「CADWe'll CAPEⅢ インストール手順書」をご覧ください。

#### ■環境移行の種類

##### 1) PC 交換



##### 2) グレードアップ



## 環境のバックアップ

環境の移行を行う上で必要なデータやファイル類をバックアップします。

### ■バックアップの流れ

#### ①『環境保守』によるバックアップ

- ・ CAPE の画面構成やログオンユーザーごとの設定内容をバックアップする。



#### ② 部品ライブラリのバックアップ

- ・ CAPE の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」をバックアップする。



#### ③ その他のファイルのバックアップ

- ・ CAPE で作成した図面、テンプレートをバックアップする。また、現在設定されているテンプレートのファイル名を確認する※。

※ 現在設定されているテンプレートは、[設定]メニュー[環境設定]([環境設定]ダイアログ[図面]タブの[新規図面])で確認できます。

##### ■図面・テンプレートファイル

分類	ファイル	拡張子
図面	図面ファイル	.dcc
	図面ファイル	.dcm
テンプレート	テンプレートファイル	.dct

- ・ 上記①でバックアップされない移行対象ファイルをバックアップする。

次ページ以降で、上記①・②について説明を行います。


上記③については、上記①でバックアップされない移行対象ファイルを『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル(P11)」で確認してください。

## ①『環境保守』によるバックアップ

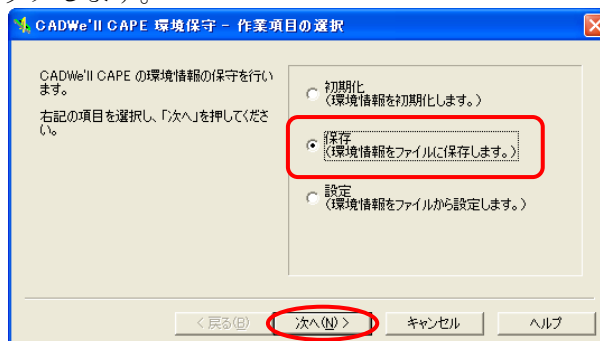
使用している CAPE の環境保守情報を保存します。

※ 環境保守で保存できる項目については、[CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログのヘルプ(下記手順 2. で<ヘルプ>ボタンを押す)を参照してください。(『環境保守のヘルプ』ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

◎環境保守を起動する前に、CADWe'll CAPE を終了しておきます。

1.  ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]メニューから[CADWe'll CAPE]—[CAPE 環境保守]をクリックします。

2. [CADWe'll CAPE 環境保守—作業項目の選択]ダイアログが表示されますので、[保存]項目を ON にして<次へ(N)>ボタンをクリックします。



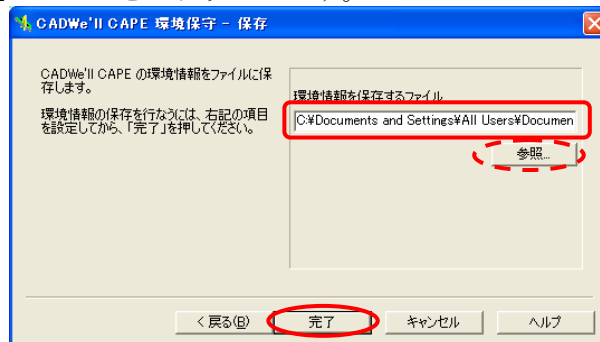
◎初期表示される保存先フォルダは、<CommonDocument>です。

※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照  
これ以外に保存する場合は、保存先をメモしてください。

◎<参照>ボタンをクリックすると、[CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログが表示され、フォルダを確認しながら保存先を指定することができます。

◎指定フォルダ内に既に同じファイル名で登録されている場合、上書き確認のメッセージが表示されます。

3. [CADWe'll CAPE 環境保守—保存]ダイアログが表示されますので、環境保守情報を保存するファイルの保存先を指定し、<完了>ボタンをクリックします。



4. [CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これで環境保守情報の保存は完了です。

## ②部品ライブラリのバックアップ

使用している CAPE の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を保存します。

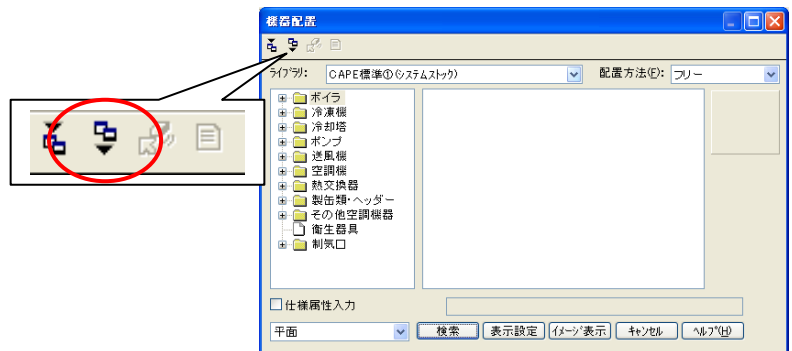
### 注意

- ・ 「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の保存は設備ごとで行う必要があります。
- ・ 「共有」で使用している他 PC の「ユーザストックライブラリ」を保存する必要はありません。

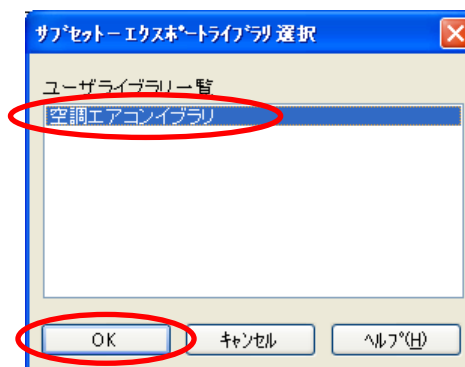
※ 「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の保存(エクスポート)の詳細は CAPE のヘルプ「サブセットライブラリをインポート、エクスポートする」トピックを参照してください。

◎電気設備の場合は、[電気]メニュー-[部品]-[通常配置]で部品ファイルのエクスポートが行えます。

1. 使用している CAPE を起動し、[空調/衛生]メニューから[機器・器具]-[配置]をクリックします。
2. [機器配置]ダイアログが表示されますので、[サブセットライブラリのエクスポート処理]ボタンをクリックします。



3. [サブセット-エクスポートライブラリ選択]ダイアログが表示されますので、登録したユーザストックライブラリまたはユーザデスクライブラリを選択し<OK>ボタンをクリックします。

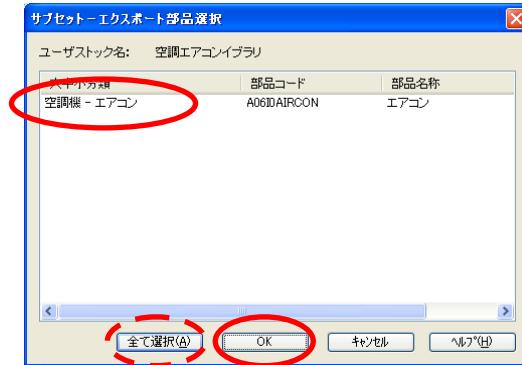


◎全ての部品を選択する場合は、<全て選択(A)>ボタンをクリックします。

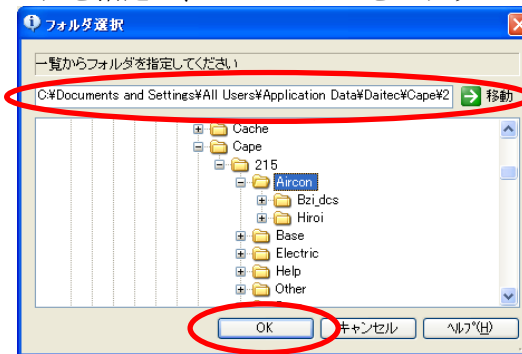
◎<OK>ボタンをクリックする前に、エクスプローラ等で、エクスポート先のフォルダを作成します。

◎初期表示される保存先フォルダは、  
<CommonAppData>¥  
<設備フォルダ>です。  
※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照  
これ以外に保存する場合は、保存先をメモしてください。

**4. [サブセット-エクスポート部品選択]**ダイアログが表示されますので、保存したい登録済み部品を選択し<OK>ボタンをクリックします。



**5. [フォルダ選択]**ダイアログが表示されますので、保存先のドライブやフォルダを指定し、<OK>ボタンをクリックします。



**6. [サブセットライブラリのエクスポート処理]**ダイアログが表示されます。<OK>ボタンをクリックするとエクスポート処理（ライブラリの保存）が終了します。

※エクスポートすると下記のファイルが作成されます。

xxxxx : 数字

設備	ユーザーストックライブラリ		ユーザーデスクライブラリ	
空調設備	AUSxxxxx.cmp	AUSxxxxx.mdb	AUDxxxxx.mdb	
衛生設備	SUSxxxxx.cmp	SUSxxxxx.mdb	SUDxxxxx.mdb	
電気設備	EUSxxxxx.cmp	EUSxxxxx.kdb	EUDxxxxx.mdb	EUDxxxxx.usr
	EUSxxxxx.mdb	EUSxxxxx.usr		

## 環境の復元

環境の移行を行う上で必要なデータやファイル類を復元します。

### ■復元の流れ

#### ①『環境保守』による復元

- ・ バックアップした画面構成やログオンユーザーごとの設定内容を CAPEⅢに復元する。



#### ② 部品ライブラリの復元

- ・ バックアップした「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を CAPEⅢに復元する。



#### ③ その他のファイルの復元

- ・ バックアップした図面、テンプレートを CAPEⅢで開き保存する。また、CAPEⅢで使用できるよう、保存したテンプレートを適宜設定※する。  
※ 設定は、[設定]メニュー[環境設定]([環境設定]ダイアログ[図面]タブの[新規図面])で行います。
- ・ バックアップした移行対象ファイルを復元する。また、CAPEⅢで使用できるよう、復元した移行対象ファイルを適宜設定する。

次ページ以降で、上記①・②について説明を行います。

上記③の移行対象ファイルは、「『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル(P11)」で確認してください。

## ①『環境保守』による復元

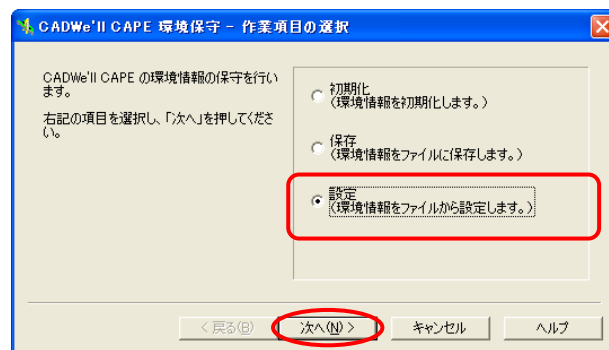
「環境保守情報のバックアップ」にて保存した環境保守情報を CAPEⅢに取り込みます。

※ 環境保守で設定できる項目については、[CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログのヘルプ(下記手順 2.で<ヘルプ>ボタンを押す)を参照してください。(『環境保守のヘルプ』ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

◎環境保守を起動する前に、CADWe'll CAPEⅢを終了しておきます。

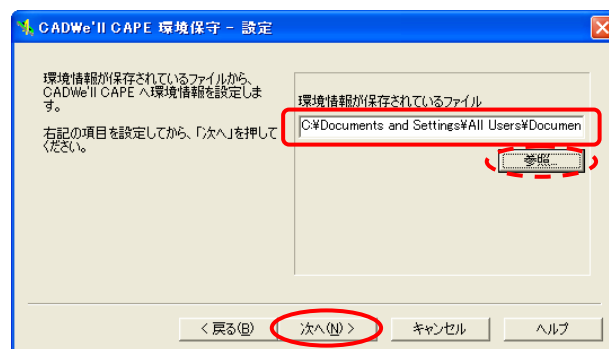
1.  スタート ボタンをクリックし、[すべてのプログラム]メニューから[CADWe'll CAPEⅢ]—[CAPEⅢ環境保守]をクリックします。

2. [CADWe'll CAPE 環境保守—作業項目の選択]ダイアログが表示されますので、[設定]項目を ON にして<次へ(N)>ボタンをクリックします。



◎保存時に初期表示された <CommonDocument> を指定します。  
※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照  
これ以外に保存した場合は、その保存先フォルダを指定してください。

3. [CADWe'll CAPE 環境保守—設定]ダイアログが表示されますので、環境保守情報が保存されている場所とファイル名を指定し、<次へ(N)>ボタンをクリックします。

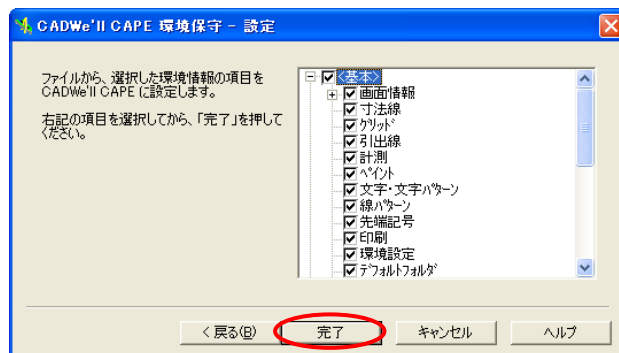


◎<参照>ボタンをクリックすると、[CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログが表示され、フォルダを確認しながら保存先を指定することができます。



4. [CADWe'll CAPE 環境保守－設定]ダイアログに設定項目がツリー表示されますので、各分類からシステム内に設定したい項目を ON に設定し、<完了>ボタンをクリックします。

◎分類の左側の[+]をクリックすることによって、更に細かい分類別に設定する・しないを指定することができます。



5. [CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これで保存した環境保守情報の取り込みは完了です。

## ②部品ライブラリの復元

「部品ライブラリのバックアップ」にて保存した CAPE の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を CAPEⅢに取り込みます。

### 注意

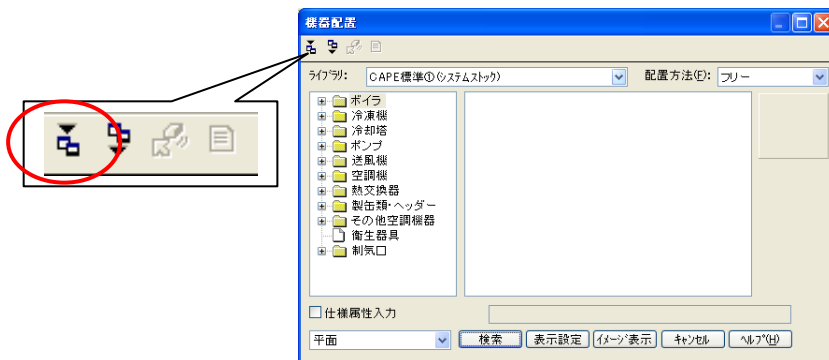
- ・ 「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の取り込みは設備ごとで行う必要があります。
- ・ 「ユーザストックライブラリ」を「共有」で使用する場合、手順4で「共有」を選択しインポートを行ってください。この際、「共有」で使用する「ユーザストックライブラリ」が[機器配置]ダイアログのライブラリリストに表示されていないことを確認の上、インポートを行ってください。
- ・ 「ユーザストックライブラリ」⇒「ユーザデスクライブラリ」の順に取り込みを行ってください。

※「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の取り込み(インポート)の詳細は CAPE のヘルプ「サブセットライブラリをインポート、エクスポートする」トピックを参照してください。

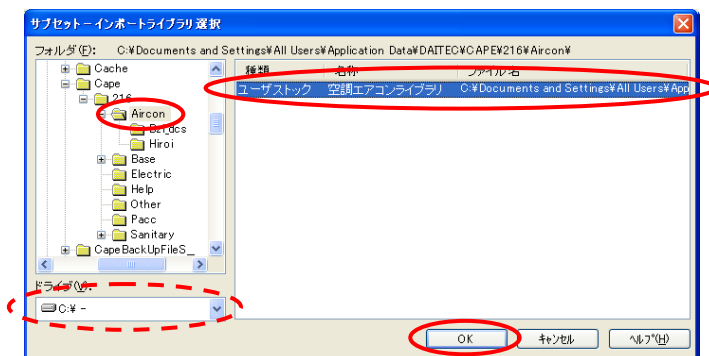
◎電気設備の場合は、[電気]メニュー[部品]ー[通常配置]で部品ファイルのインポートが行えます。

1. CAPEⅢを起動し、[空調/衛生]メニューから[機器・器具]ー[配置]をクリックします。

2. [機器配置]ダイアログが表示されますので、[サブセットライブラリのインポート処理]ボタンをクリックします。



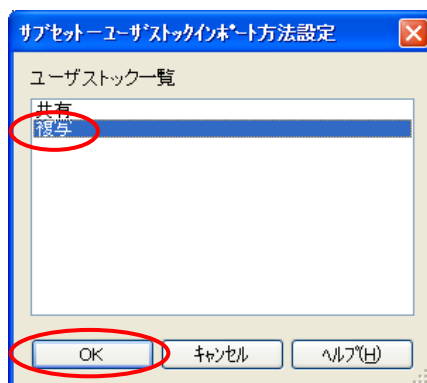
3. [サブセットーインポートライブラリ選択]ダイアログが表示されますので、保存したユーザストックライブラリまたはユーザデスクライブラリを選択し<OK>ボタンをクリックします。



◎初期表示される保存先フォルダは、  
<CommonAppData>%  
<設備フォルダ>です。  
※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照  
これ以外に保存した場合は、その保存先フォルダを指定してください。

◎ユーザストックライブラリを「共有」で使用する場合は「共有」を選択します。

4. [サブセットユーザストックインポート方法設定]ダイアログが表示されますので、ファイルの取り込み方法を選択し、<OK>ボタンをクリックします。



5. [サブセットライブラリのインポート処理]ダイアログが表示されます。<OK>ボタンをクリックするとインポート処理（取り込み）が終了します。

## 『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル

以下に[CAPE 環境保守]でバックアップされない移行対象ファイルをまとめます。  
バックアップ時の確認用としてご活用ください。

※ [CAPE 環境保守]で保存できる設定内容については、[CADWe'll CAPE 環境保守]ダイアログの<ヘルプ>ボタンを押し、ヘルプを参照してください。([環境保守のヘルプ]ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

### (1)[CAPE 環境保守]の対象フォルダ以外に保存した設定ファイル

下表の設定ファイルは、[CAPE 環境保守]でのバックアップ対象ですが、対象フォルダ以外に保存したファイルは、バックアップされません。手動でバックアップ・復元を行ってください。

#### 1) 基本機能の設定ファイル

《対象フォルダ》 <CommonDocument>¥Base とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子
印刷	マージンファイル	.mgn
ハッチパターン	ハッチパターンファイル	.ptn
色・線種・線幅	線パターンファイル	.atx

#### 2) 空調・衛生設備の設定ファイル

《対象フォルダ》 <CommonDocument>とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子
作図設定(空調)	作図規則ファイル	.asf
作図設定(衛生)	作図規則ファイル	.ssf
拾い(空調)	拾い設定ファイル	.hri
拾い(衛生)	拾い設定ファイル	.hri

#### 3) 電気設備の設定ファイル

《対象フォルダ》 拾い以外 : <CommonAppData>とそのサブフォルダ全て  
拾い : <CommonDocument>とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子
部品・姿図	部品登録情報ファイル	.eci
	照度計算マスタファイル	.lig
配線	配線パレットファイル	.plt
拾い	拾い設定ファイル	.hri

※フォルダの詳細は「保存先フォルダについて(P13)」参照

## (2) その他のファイル

下表のファイルは、[CAPE 環境保守]でのバックアップ対象外です。  
手動でバックアップ・復元を行ってください。

### 1) 基本機能のファイル

分類	ファイル	拡張子
部品	部品ファイル(Normal.cmp)	.cmp
	その他部品ファイル	.cmp
色一括変更	色一括変更設定ファイル	.dcs
線幅一括変更	線幅一括変更設定ファイル	.dcs
色・線種・線幅	色・線種・線幅ユーザ設定ファイル	.xml
レイヤ	レイヤパターン	.xml
	レイヤ整理情報ファイル	.lrf
	レイヤー一覧ファイル(出力のみ)	.csv

### 2) 空調・衛生設備のファイル

分類	ファイル	拡張子
機器・器具	仕様属性ユーザ項目ファイル	.sau
メンテナンス	直管種類・継手種類マスタファイル	.dcs
拾い	拾い表 DB ファイル	.hdb
	集計表 DB ファイル	.sdb

### 3) 電気設備のファイル

分類	ファイル	拡張子
回路番号	回路番号設定ファイル	.crc
部品	照度計算データファイル	.csv
	負荷容量合計表ファイル	.csv
配線	傍記テーブル設定情報ファイル	.csv
拾い	拾い DB ファイル	.mdb
	拾い DB ファイル	.edb

## 保存先フォルダについて

以下に標準のインストールフォルダをまとめます。

### (1) CAPE2007 以降のバージョンの場合

略号	OS	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:\Documents and Settings\All Users\Documents\Daitec\Cape\215
	Windows Vista	C:\Users\Public\Documents\Daitec\Cape\215
	Windows 7	
<CommonAppData>	Windows XP	C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Daitec\Cape\215
	Windows Vista	C:\ProgramData\Daitec\Cape\215
	Windows 7	
<設備フォルダ>	Windows XP	空調設備の場合 : Aircon
	Windows Vista	衛生設備の場合 : Sanitary
	Windows 7	電気設備の場合 : Electric

例) OS が「Windows 7」で、対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument>」は、  
**C:\Users\Public\Documents\Daitec\Cape\215\Aircon**  
 となります。

### (2) CAPE2007 より前のバージョンの場合

略号	OS*	フォルダ
<CommonDocument>	Windows XP	C:\CAPE\System
<CommonAppData>		
<設備フォルダ>		

\*CAPE2007 より前のバージョンでは、Windows Vista・7 で動作しません。

例) 対象設備が「空調設備」の「<CommonDocument>」は、  
**C:\CAPE\System\Aircon**  
 となります。